

【開催報告】

【公開講座】畑で汗を流しませんか

私たちが普段食べる野菜の多くは農薬を用いて作られています。本講座では、自分たちの手で農薬を使わずに夏野菜を育てて食べることで畑や農業、農産物にかかわる様々な事柄を学ぶことを目的として、全7回の畑作業と5回の講義を行いました。

初回の5月8日には畝に黒マルチをかけてそれぞれの受講者が持ってきたいろいろな種類の作物の苗を植えました。ここに奈良女子大学の授業科目と自然環境教育センターの「自然体験活動企画」からも数名加わり、5月から12月まで畑作業や講義を通して、栽培を学びます。



第2回目までに大きく育った苗もあれば、枯れてしまった苗もあります。第2回目の講座では、技術教育講座の箕作さんから「栽培の基礎と生産技術」のお話を聞きました。その後畑に移動し、昨年の受講者らが植えたタマネギと実習園で植えておいたジャガイモを収穫しました。タマネギは大玉が豊作で、スポスポと抜ける感触を楽しみつつ、受講者らは収穫量に驚きました。



第 3 回目の講座では畑管理を行いました。もう収穫できる作物がありました。サツマイモの苗の定植もしました。



第 4 回の講座では、理科教育講座の辻野さんから「堆肥の世界」と題するお話を聞き、畑に移動してからは作物の管理や収穫、雑草駆除を行いました。

8 月前半は雨が降らず、本当に暑かったです。8 月後半にあった第 5 回目の講座では、育てている夏野菜がしなしなになって枯れる株も出てきました。夏野菜はあきらめて、秋冬野菜の種蒔きを検討すべきかもしれません。

第 6 回の講座は 11 月にあり、自然環境教育センターの村松さんから「植物と動物の助け合いと殺し合い」のお話を聞き、畑に移動して半年間管理した畑の作物を撤収しました。また、11 月初旬は芋掘りのシーズン真っ只中だったので、6 月に植え付けたサツマイモを半分だけ収穫してみました。



最後の第 7 回は 12 月 2 日にありました。最終回では午前中に板橋から柿に関する講座が学校教育講座の板橋さんからあり、午後からは畑に出て翌年度の講座のためのタマネギ苗の定植作業を行いました。植え方の説明を受けてから、実際に植えてゆきます。



前回掘り残しておいたサツマイモも掘り上げました。ひと月残しておいたことで芋が大きく成長していました。サツマイモは掘ってすぐ食べるよりも、ひと月くらい寝かせておいた方が甘くておいしくなることが知られていますので、前回収穫したサツマイモと高畑キャンパスで集めてきた落ち葉を使って焼き芋を焼いてみました。落ち葉で焼くサツマイモは甘くておいしかったです。



この講座では自分で育てた夏野菜を自分で収穫して食べるという経験をするとともに、畑や農業、農産物にかかわる様々な事柄を学ぶことを通して、安全でおいしい食べ物を得ること難しさや苦労を受講者は知ることができたと思います。全体を通して畑作業では作物の旺盛な生長や次から次へとできる夏野菜と雑草の生命力に驚かされる講座でした。